

市内企業への就職率アップをめざして 高校生の企業見学会を実施

市内企業への理解を深めてもらい、市内への就職を促進するため、氷上高校・氷上西高校・篠山産業高校の生徒が市内企業の見学会に参加しました。

今年の見学会はパナソニックライティングシステムズ(株)・アイクレオ(株)・三井化学エムシー(株)・(株)大地農園の協力を得て実施され、生徒は熱心に企業担当者の説明に耳を傾けていました。



懇談会で先輩社員の話を聞く高校生たち

市民の健康づくり推進のために 中外製薬株式会社と連携協定

12月19日、市と製薬会社「中外製薬」は、市民の健康づくりを推進するため連携協定を結びました。健康セミナーでの講師の推薦や、保健師への最新情報の提供などで、市民の健康づくりを支援します。

高田昌俊関西統括支店長は「高齢化が進むなか、製薬会社として地方都市への支援のモデルケースになっていきたい」と協定への期待を寄せました。



協定書を手にする高田関西統括支店長（写真左）と谷口市長

社会を明るくする運動 長年の協力に感謝



感謝状を贈られた農事組合法人おいでな青垣の大谷吉春組合長

社会を明るくする運動の啓発場所として、10年以上道の駅あおがきの一画を提供している農事組合法人おいでな青垣に、神戸保護観察所長から感謝状が贈られました。

感謝状を手にした農事組合法人おいでな青垣の大谷吉春組合長は、「全従業員を代表して賞をもらったという気持ち。今後も、運動の趣旨や人権の大切さを伝えていきたい」と話しました。

自然エネルギーの普及・推進に取り組む 地域おこし協力隊が着任



協力隊としての抱負を語る阪口さん（写真左）

1月7日、森林資源の活用と保全で地域活性化を担う「地域おこし協力隊」として着任した阪口明美さんが、市長から委嘱書を受け取りました。任務は、薪の販路開拓や、薪ストーブ・薪ボイラーの普及活動などです。

阪口さんは、「人と人のつながりを大切に、地元の人と共に活動し、“木の駅プロジェクト”を自分なりに発展させたい」と抱負を語りました。

恐竜を通じた交流学习 むかわ町で「竜学」を実施！

11月10日～12日までの3日間、小学6年生の代表8人が、恐竜大使として北海道むかわ町を訪問しました。北海道胆振東部地震の影響で一時は実施が危ぶまれましたが、むかわ町の皆さんのありがたい申し出を受け、期間を4日から3日に短縮して実施されました。

児童たちは、8月と10月の2度の学習会で恐竜やむかわ町について学び、「竜学」の準備をしてむかわ町を訪問。現地では、むかわ竜化石の発見現場や穂別博物館の見学をはじめ、丹波竜をむかわ町の小学6年生に紹介する交流授業を行いました。また、壊れたままの建物や崩れた山肌など、地震の爪あとを目の当たりにしました。

「竜学」実施後には、12月2日に開催された丹波竜フェスタで、8人の児童それぞれが「丹波竜とむかわ竜の違い」や、「地震の恐ろしさ」など「竜学」で学んだこと・感じたことなどを、自分の言葉で力強く発表しました。今後も恐竜を通じた交流学习が広がっていくことが期待されます。



「竜学」中に化石クリーニングに取り組む児童たち



「竜学」の活動報告を行う児童たち

生花松とアレンジメントを寄贈 市役所を華やかに彩る

12月26日、山南地域の丹波若松生産者会から生花松とアレンジメントフラワーの寄贈を受けました。今年は長雨や日照りなど、異常気象の影響が心配されましたが、異常気象のわりには品質の良い松が出荷できたそうです。

谷口市長は「2019年は丹波市元年と位置づけて、様々な事業がスタートする年。縁起のいい若松をいただいてうれしい」と話しました。



寄贈された若松と、丹波若松生産者会の皆さん

森林保全と活用によるまちづくり 北岡本自治会が県知事賞を受賞



県知事賞を受賞した北岡本自治会の皆さん

県内の優れたまちづくり活動を表彰する「人間サイズのまちづくり賞」を、豪雨災害をきっかけに、森林の整備や都市との交流などを行う市島地域の北岡本自治会が受賞しました。

黒田拓治自治会長は、「次の災害を防ぐためにも、森林の整備は自治会でやっていくことが大切。今後も自治会のみなで、仲良く楽しく活動を続けられたら」と話しました。